

地域と歩むコミュニケーション紙

# MIYAKO

Vol. 10 2015 春号



地域協議会だより



◆ 主な内容 ◆

**みんなの力で地域を創る**

～平成26年度地域創造基金事業の紹介～

ふるさと再発見

**月泉和尚物語**

長沢川桜づつみ

# みんなの力で 地域を創る

## 平成26年度地域創造基金事業の紹介

地域創造基金は地域住民の連帯強化や地域振興のための事業に活用されています。26年度は33事業が行われました。

### 「海の日」宮古港カッターレース

宮古港カッターレース実行委員会



息を合わせゴールを目指す

来年度は宮古港開港400周年を迎えます。カッターレースも記念事業の一つとして、これまで以上の盛り上げと「海のみち」宮古のPRと活性化を図り、出場選手間の交流を深め、水産並びに海洋スポーツの普及・振興により、明るく豊かなふるさとづくりの一翼を担うよう努力して参ります。

### 「宮古の旧跡をたずねて」

思惟の会

5月10日、「宮古の文化財を考えるシリーズ」第四弾として実施したこの企画には、138名の参加者をいただきました。宮古駅を起点に、花輪の南部重信公歌碑、国の登録指定の津軽石盛合邸、光岸地の大杉神社では織部灯笼、鴨塚の碑を見学し、浄土ヶ浜ビジターセンターを経て、レストハウスで女性音楽家グループのグライツィアのミニコンサートを楽しみながら昼食。その後、新緑の白木山で宮古湾海戦碑を解説、最後の山口公民館で慶徳雄仁師の講話で締め、4時30分に宮古駅で解散となりました。宮古の文化財についての、市民の皆様への熱い関心の思いを感じた一日でした。



南部重信公歌碑の前にて

### 復興 冬のイルミネーション

宮古商工会議所青年部

震災から復興する宮古に光を灯し、人々の心に明るさを持っていただけるようにと始めたイルミネーション事業。今回も自分たちの手で作り上げようと、雨の降る中、23名の青年部会員が設置作業を行い、11月29日(土)から2月27日(金)まで点灯いたしました。目玉となった全長約70mの「光のアーチ」は、復興に向けて力強く邁進する宮古をイメージいたしました。中は、幻想的な光の空間。外を見渡すと、光に包まれた宮古の風景が広がります。この中を楽しそうに何度も走り回る子供たちの姿。彼らが未来の宮古を支えてくれるでしょう。



市役所前歩道橋

### ウェルカムフラワーが迎える街並み創出事業

昭和通りのおかみさんもてなしたい

多くのボランティアや小学生が、ハンギングバスケット作りに参加しました。延べ人数は165名、このうち小学生は105名です。花の総数は5413個で、370個のハンギングバスケットとプランターへの植え込みをしました。津軽石小学校は三年生、藤原小学校は五、六年生が初めての取り組みにも関わらず、熱心にお花を選び、ハンギングバスケットを作成しました。六年生の男子生徒が自分の作ったバスケットの見事さに感激して、「これをこのまま、お母さんに持って帰ってあげたい。」とうたったえました。そのハンギングバスケットは街に飾られました。そのやさしさに胸打たれました。



藤原小学校の生徒と作成したハンギングバスケット

### 第49回音楽の夕べ

宮古市で交響曲を演奏する会

第49回「音楽の夕べ」は、祖父の創設した「太田カルテット」創立100年にあたる年でもありました。ご支援下さいました各関係者の方々にご心よりお礼申し上げます。第一部はキラキラ星変奏曲で始まり、楽しい旅行、ガボットを演奏しました。習い始めたばかりの子供から、大人まで全員参加のステーションです。第二部はヴァイオリン独奏で、中学一年、高校三年生が演奏しました。第三部では東京カワンバグストリングオーケで演奏しました。第四部の弦楽合奏。第五部では「オーケストラと歌おう」で四曲を共演、心に残るコンサートでした。



ストリングオーケストラと歌おう

### 第4回みやこ街コン

みやこ街コン実行委員会



新たな出会いに乾杯

20歳から40歳までの男女が集い、宮古市内の美味しいお店や温かな人との出会いを通じて、街に賑わいを創出し、晩婚化に歯止めをかけ、「みやこ」の活性化に貢献することを目的として「第4回みやこ街コン」を4月19日(土)に開催しました。当日は同性ペア2人1組で申込をした男女あわせて204名の参加者が、18時から21時30分の3時間半のなかで街コン参加飲食店9店舗を自由に巡りながら、美味しい料理とお酒、そして人との出会いを楽しみ大いに盛り上がりました。

### 田代の紅白歌合戦

田代おもてろプロジェクト実行委員会



亀岳小児童の演舞と加工部会スコープ三味線の共演

田代の紅白歌合戦は、12月21日、亀岳小学校体育館を会場に、盛大に開催されました。娯楽の場を提供することはもとより、住民が世代を超え、協力し合い、プロセスと達成感を共有することで、強固なコミュニティと深い郷土愛を創造することを目的としています。回を重ねるごとに、内外からの来場者も増え、感動と感謝の声も多く聞かれるようになりました。紅白歌合戦というツールで、会話が生まれ、お互いを知り、讚えあう、非日常の演出が作り出す一日は、また次の一年の話題となり、新たなコミュニティの創造につながっています。

### ピョンカフェスティバル

ミヤコレポリューション21



こんなのできたよ!(段ボール遊び)

1月24日(土)総合福祉センター健やかホールにて「ピョンカフェスティバル」を行いました。当日は、開場前から多くの親子が訪れました。ぞうさんのミミの読み聞かせから始まり、緑日コナーでは、親子一緒に楽しむ姿が見られました。段ボール遊び・カプラ(積み木)・手作り工作コナーでは、時間を忘れて集中して遊ぶ子どもも多く、制作した大きな段ボール作品を持ち帰る方もいました。くらうん・しゅーがーさんのショーでフィナーレ。多くのボランティアさんに支えられ、笑顔あふれるイベントとなりました。

### 環太平洋つみべの集い in Miyako

さんりくESD 関伊川大学校



鯛のつけ方を教えてもらい、釣りに行く

海辺の集い in Miyakoでは、国際環太平洋海洋教育者ネットワーク会議のメンバー20名(9カ国)と高浜小学校6年生の皆さんとで、ボート遊覧、カヤック、磯観察、ヨット体験釣り等を体験しました。外国人メンバーは、この晩、早池峰山荘にて懸命に日本語を学び準備をしていました。児童達も最初は緊張した面持ちでしたが徐々に慣れ、女子児童は「丁寧に鯛の付け方を教えてもらいとても嬉しかった」と語ってくれました。海外の方々も「素直で元気な子供たちに感心した。日本の子供たちは素晴らしい」と感激していました。今回の経験も大事にして、これからも交流を深めたいと抱負を語っていました。

### 僕らの夏祭り

僕らの夏祭り実行委員会



みんなで御神輿

宮古の人々や子どもたちに笑顔を届けようという想いから、赤前住民を中心とした実行委員会によって、8月9日に赤前消防コミュニティセンター前の広場に夏祭りを開催しました。首都圏の大学生ボランティアと協力連携して行った今年のお祭りでは、悪天候だったにも関わらず延べ500名の来場者があり、焼きそばやわたあめ等の各種模擬店の他、カラオケ大会やビンゴ大会、ライブ演奏など多彩なプログラムで大いに盛り上がりました。今後も宮古の地域づくりを盛り上げられるように楽しいお祭りを続けていきたいと思っています。

### 第3回みやこほっこり映画祭

ほっこりみやこ実行委員会



映画「キツキと雨」を観た後は、木のイス作り

宮古の地と人が育んできた美徳を、地域の人々が再認識し、お互いを「ほっこり」と温めあいながら、穏やかな復興を遂げるための取り組みである「ほっこりみやこ」のフラッグシップイベントである映画祭を中心に、三年目の取り組みを地域創造基金を活用して実施しました。11月22日から24日の3日間開催した映画祭では、今年も市内外から500名以上の来場者を迎え、様々な市民団体の協力のもと上映といっしょに、ワークシヨップやトークシヨールを実施しました。更なる地域連携を進め継続して参ります。

末前・青倉地区交流事業

末前地区自治会

末前地区と青倉地区は隣接しており、古くから交流を続けていて、毎年秋には「末前・青倉地区大運動会」を開催しています。今年度は9月14日に末前地区公民館グラウンドで行い、地区住民約50名が参加しました。両地区の子どもからお年寄りまでのほぼ全員が集い、和気あいあいとした縄跳び競争やパン食い競争、スティックボールなどの競技を楽しんでいました。



「縄跳び競争」の達人たち

けげだす村工房まつり

青倉地区自治会

青倉地区は地場産品や加工品の販売、郷土料理の提供など地域の振興と連携強化を図るため、平成9年から「けげだす村工房まつり」を開催しています。18回目となる今回は10月26日に開催し、約500人にご来場いただきました。中には遠方から来られた方や毎年来てくださる方も多く、皆さんが豆腐田楽や団子、イワナの塩焼き、毎年恒例のけげだす鍋の振る舞いで青倉の味を堪能し、野菜や味噌などたくさんお買い上げいただきました。



青倉豆腐作り

田老地区復興まちづくり協議会活動推進事業

宮古市田老地区復興まちづくり協議会

本協議会は、市の震災復興事業の状況を見ながら、田老地区の復興まちづくりについて住民の意向に基づいた提言を関係各機関に行っています。また、検討課題ごとに部会を設置し、被災した住民が現在抱えている課題をテーマに検討を重ねています。今年度は、田老地区の住居表示制度の導入について住民からの要望や意見を踏まえ、その実現に向けた活動を行うことができました。



乙部高台に係る「心配ごと話し合いっこ会」

「LIGHT UP NIPPON」おらほの復興花火大会

WARADUKA

以前は「おらほの夏まつり」として開催されていた花火大会ですが、震災以降は、LIGHT UP NIPPONと大会賛同者の協力により「LIGHT UP NIPPON」おらほの復興花火大会」として毎年8月11日に開催しています。開催4年目となる今回は、松本哲也・竹花美穂子のミニライブ、賛同者から寄せられた追悼や復興への思いを込めたメッセージの読み上げと花火の打ち上げなどを行い、田老地区内外から約3千人の来場者を迎え、大盛況となりました。



出店もありました！

第68回田老地区体育大会

田老地区体育大会実行委員会

田老地区体育大会は戦後から現在までほぼ毎年開催されている歴史ある大会です。第68回目の今大会は10月12日に田老一中校庭で行われ、秋晴れの下、幼児からお年寄りまで約1000人が集い、競技への参加や応援など大いに楽しめたと思います。また、復興支援として八幡平市、黒石市及び盛岡第四高等学校に参加していただき、さらにJOC主催の「オリンピックデーフェスタ」も開催され、小中学生とオリンピックアンバサダーを通じてふれあう貴重な体験ができました。



転がせ、転がせ

新里地区教育振興運動推進事業

新里地区教育振興運動推進委員会

昭和40年度に始まった新里地区の教育振興運動は、次代を担う子ども達の教育水準の向上を目指し、「子ども・親・学校・地域・行政」の五者が一体となり、地域ぐるみによる運動を行っています。今年度も、「学力向上」、「健全育成」、「健康安全」、「家庭や地域の教育力の向上」を実践目標として、四実践区においてそれぞれの特色を生かして家庭学習や読書活動、自然体験活動、地域交流活動など、様々な取り組みを行っています。今後も、子ども達の育成のため地域全体で運動を継続してまいります。



地域の方々との交流 そば打ち体験

新里地区生涯スポーツ推進事業

新里地区生涯スポーツ推進協議会



スポーツレクリエーション祭 ペタンク競技

スポーツ・レクリエーションに親しみ健康・体力づくりができるよう、年間にわたって様々なスポーツイベントを開催しました。3カ月に及ぶナイターでの「ソフトボールリーグ」、秋には初めての「グラウンドゴルフ大会」や「スポーツ・レクリエーション祭」、「女性軽スポーツ大会」、一月には「ビーチボールバレー大会」を開催し、各地区でも運動会や軽スポーツ大会などを開催しました。この事業は、小学生から高齢者まで幅広い年代層の方々が参加し、交流と親睦が図られています。

和井内ふるさと収穫祭

和井内区



好天の下の開会式

11月2日、心配した天候も味方となり和井内青雲太鼓の勇壮なリズムと軽快なばさばさきで「第13回和井内ふるさと収穫祭」が始まりました。恒例の児童が作ったさつま芋や手作りの餅、団子類は瞬く間に完売し、地元産の野菜、米、りんご類、館内でのそば打ち体験や婦人会開設の食堂の十割そば等大好評でした。舞台上では歌や踊り更には、大抽選会とお客様に楽しんでいただきました。閉会後に降り出した雨で撤去中若干濡れたものの、区民をはじめ関係者の日頃の行いのお陰と改めて感謝した一日でした。

サマーフェスタにいとと2014

サマーフェスタにいとと実行委員会



不来方ベンチャーズのコンサート

サマーフェスタにいとと実行委員会は、「魅力ある地域づくり」を目指し新里地区の夏まつりを開催しています。平成26年度は8月2日に新里トレーニングセンター特設会場において郷土芸能・交流カラオケ大会・ミニコンサート・大抽選会などを実施致しました。新里地域は高齢化や若年層の流出など、地域の活力が薄れている現状ですが、私たち実行委員会が活動を継続することにより、「魅力ある地域づくり」の一助になれるよう、今後も活動に取り組んでいきたいと考えています。

産直まつり

和井内深山産直会



多くの来店者で終日賑わいました

まつり当日（11月9日）を見事な快晴で迎えることができ、畑の物、山の物の商品も思っていたより豊富に揃いました。お客様が多く訪れてくださることを願いながら開店準備をしていましたところ、多くのお客様が訪れて下さり、三十分も早くの閉店となりました。復興支援で県外から来ていつも買いに来てくれる方々が、お振舞の盛り付けぐらいはお役に立ちたいとお手伝いして下さいました。地域創造基金でポスターを作り、折込チラシを配布できた効果は大きく、終わってみれば多忙な一日でしたが、多くのお客様の来店と笑顔にスタッフは感謝しました。

牧庵鞭牛周年祭

牧庵鞭牛周年祭実行委員会



除幕式後、掲示板に見入る皆さん

小雨降る7月20日、地域住民など約80名の出席のもと、東屋並びに掲示板の除幕式が行われ、新里地域協議会長の祝辞、生家の方からお礼のお言葉等をいただきました。式終了後、一行70名は牧庵鞭牛の足跡を訪ねて釜石林宗寺へ向かいました。バスの中では宝鏡院（和井内）の住職達による牧庵鞭牛に関するお話、功績地の案内、説明等がありました。林宗寺では住職のお話、お経を唱えていただき、参加者一人ずつ合掌し、林宗寺を後にしました。改めて牧庵鞭牛の偉大さを痛感した一日でした。

閉伊川遊イング事業

閉伊川遊イング実行委員会



川下り大会で息を合わせ漕ぐ選手

私たちは、閉伊川を活用し宮古市をPRするため、9月6日、7日に2事業により事業を開催しました。川下り大会前夜祭花火大会は、北上山地の山並みに響く花火の爆音を背に皆様から寄せられたメッセージを読み上げ、翌日開催の川下り大会をPRしました。川下り大会は、リピーターもさることながら、遠方からの参加もあり306人の選手エントリーがありました。昨年は増水により競技が中止となりましたが、今年は好条件での開催に大変盛り上がりました。閉伊川で川下りが出来る自然の恵みに感謝し、本年度の事業を終了することができました。



田代念佛剣舞

夏屋紅葉まつり

第6回夏屋紅葉祭りを10月12日(日)夏屋地区の山の駅・峠茶屋「楓」の特設会場で開催しました。

今回は例年になく好天に恵まれ、山々の紅葉も鮮やかに染まり、絶好のロケーションの中開催することが出来ました。

夏屋ろばた塾



ただ今、出荷準備中

川井の観光資源及び食文化の再発掘

私たちは、今年度から地域素材を活用した体験交流事業の検討を始めました。その中で高齢者が有機野菜などを生産してもなかなか販売することが出来ない実情にふれ、自宅集荷を実施したところ一定の成果が挙げられ、高齢者も消費者からも好評を得たところでした。

森・かわい・海ネット

の取材を重ね、これらを川井地区の資源とどう連携していくかも検討をしました。食文化の再発掘に関しては「芋の粉」、「ヤマメの燻製」を利用した新たなメニューを開発にも取り掛かっており、地域食材の新たな発掘を考へて活動を展開して参ります。

今後は、この事業を継続し、地域資源の利活用に取り組んでいきたい。



大勢の前で披露する江繫剣舞の子供たち

江繫地区収穫感謝祭

江繫郷土芸能保存会

江繫地区収穫感謝祭は、11月16日(日)に江繫小学校体育館を会場に開催しました。江繫早池峰神楽、江繫剣舞の発表のほか、ゲスト出演の黒森神楽や川井地域郷土芸能共演会として箱石鹿踊り、川井御戸入りが発表され、集まった多くの皆さんから盛んな拍手を浴びていました。

また、民謡日本一に輝いた小田代直子さんの歌謡ショーが発表に花を添えていただきました。江繫の各地区からのお振舞いに舌鼓を打ちながら、穏やかな秋の一日を過ごしました。早池峰山に関する写真コンテストや江繫小学校児童の早池峰絵画コンテストでは、地域を見直す機会ともなり、地域の宝を再認識していました。



未来人レース 目指せ一等賞!

川井地域大運動会

川井地域大運動会実行委員会

平成26年度川井地域大運動会が10月5日(日)川井小学校グラウンドを会場に、川井地域6地区ごとに競技役員及び選手団を編成し総参加で開催しました。当日は天候に恵まれたものの、台風が接近する影響もあって、大会終了まで肌寒い一日となりました。

出場された選手の方々は、日ごろの運動不足をものともせず、競技にはハッラツとし参加し、心地よい汗を流していました。また、参加者同士の交流も深められ和気あいあいと競技され、明るく活気に溢れた大運動会になったと思います。この運動会は、川井地域全体が一堂に会える機会でもあり、今後とも継続していく予定です。

踊りの里小国振興事業では恒例の「踊りフェスタ」を11月23日(日)に出演者100名と地域内外から多くの来場者を迎え、盛大に開催されました。地元末角神楽で幕を開け、芸能団体の発表、その後今年度廃校となる小国小学校の皆さんを中心とした「恋するフォーチュンクッキー」を踊りました。午後からは北上市の鬼剣舞や紫波町の金山太鼓などゲストの迫力ある演舞を堪能し、フィナーレは地元の風林火山のオリジナル曲や宮古新風海星海との総踊りで幕を閉めました。この他に本事業では、小国の宝整備として地域の見どころ案内版の設置や「月泉和尚物語」の冊子発行なども行われました。



躍動感ある小国風林火山

踊りフェスタで芸能交流

小国地域づくり委員会

第43回川井郷土芸能祭を、11月2日(日)川井小学校体育館で開催しました。出演団体は、川井地域から13団体、新里地区から「茂市鹿子踊り」の出演をいただき、小学校低学年から高齢の方々と幅広い年代層が一緒に、地域の伝統ある郷土芸能を熱演していただきました。日頃は、後継者問題等、存続の危機にある団体も、この日はかりはそんなことは考えず、楽しく芸能を発表しては、お互いにその芸能を賞賛し合いながら鑑賞していました。また、昨年度より川井中学校が総合学習の一環として郷土芸能に取り組み、その成果として「箱石こうきりこ」と「末角笠踊り」を披露し、来客者や各団体の出演者を感動させていました。



川井中学校による「末角笠踊り」

勇壮な・華麗な舞の競演

川井郷土芸能団体連絡協議会

道の駅「区界高原」を会場に9月28日(日)第5回区界高原まつりを開催しました。当日は、天候に恵まれ、多数の来客者で賑わいました。高原野菜の大根、キャベツ、白菜は飛ぶように売れ、早々に完売の知らせとなりました。ステージイベントでは、地元の田代念佛剣舞や門馬小学校児童によるしらかば太鼓、歌謡ショー、ご当地野菜を使ったゲーム大会などで地域と来場者の交流を深められたことは有意義なものでした。区界地区では宮古市の西の玄関口として地域が元気になるイベントを今後も継続していきたいと考えています。



しらかば太鼓に大きな声援

第5回区界高原まつり

門馬地域自治振興協議会

早池峰マラソンで健脚競う

NPO法人かわい元気社

早池峰山ろく地産地消交流事業のメインイベントとして第4回早池峰マラソンが10月26日(日)に開催しました。今回から主会場を川井中学校に移し、一般ランナーから小学生まで総勢180名が健脚を競いました。また、大会運営には地元スタッフ100名ほどの協力を得て行い、ゴール後は選手らと交流を深めることができました。



いざ、スタート!

今年で26回目となる「閉伊川釣り大会」を6月15日(日)に開催し、当日は快晴のもと42名の参加者が川井地区の閉伊川本支流で釣果を競い合いました。この大会は観光振興、地域活性化だけでなく、閉伊川の清流化・河川の環境保護の意識の向上を図ることを目的としていることから、大会参加者には競技の条件としてゴミや空き缶などの回収を義務付けています。また、当日はスタッフも国道沿いのごみ拾いを行うなど、河川環境保護について再認識した大会となりました。



大物は釣れたかな?

閉伊の郷まつり

閉伊の郷まつり実行委員会

昔から各家庭で受け継がれてきた自慢の煮しめを広く宣伝し、食文化の継承活動を目的に今回で5回目を迎えた「煮しめサミット」を道の駅やまびこ館を会場に10月26日(日)に開催しました。川井地域をはじめ新里、宮古地域から計11団体が参加して、それぞれの煮しめのお振る舞いを行いました。自慢の鍋の前には長蛇の列ができて、好評のうちに早い段階で品切れとなってしまいました。今回は、日程の変更や規模の縮小により、来場者数などの心配もありましたが、天候に恵まれ盛況で終えることが出来ました。今後もこの催しを通じて、地域の食文化の継承に繋げるよう頑張っていく予定です。



秋晴れのもと民謡を堪能

地域創造基金事業を行える期間を5年間延長しました

地域創造基金は、地域住民の連帯強化や地域振興を図ることを目的として行われる事業を助成するために設置された基金です。

平成17年度から平成26年度までの10年間で運用(川井地域自治区は平成21年度から平成26年度まで)してきましたが、平成31年度まで期間を延長しました。

このため、地域創造基金事業を行う期間も5年間延長し、地域づくりのために行われる活動を引き続き支援します。

平成27年度事業募集の年間スケジュール

事業実施時期	予算措置	応募期限
補助金の交付を決定した日~平成28年3月20日 (平成27年7月1日~平成28年3月20日)	当初予算 (6月補正予算)	平成27年3月31日
平成27年10月1日~平成28年3月20日	9月補正予算	平成27年6月30日(追加募集)
平成28年1月1日~平成28年3月20日	12月補正予算	平成27年9月30日(追加募集)

注) 6月補正予算については、必要と認められた場合のみ予算措置となります。  
注) 予算の状況によっては、追加募集を行わない場合があります。各地域自治区事務所へお問い合わせください。

お問い合わせ

- 宮古地域自治区 企画部企画課 ☎62-2111
- 田老地域自治区 企画部田老総合事務所 ☎87-2111
- 新里地域自治区 企画部新里総合事務所 ☎72-2111
- 川井地域自治区 企画部川井総合事務所 ☎76-2111



# 月泉和尚物語

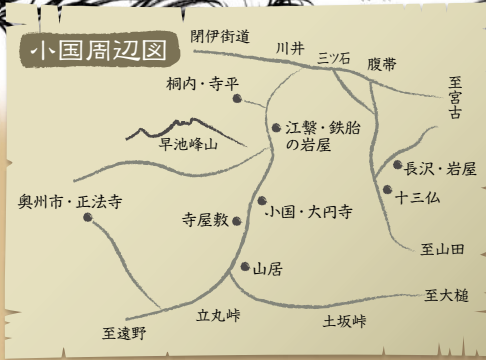
## 小国開田の聖ひじり

宮古地方の地域振興に貢献した月泉和尚は1319年、今の宮城県本吉郡で誕生しました。仏門に入った月泉は能登の総持寺の門を叩きます。ここは道元が開いた永平寺にほど近く、曹洞宗拡大の拠点として位置づけられていました。二世の我山和尚に師事した月泉は八年の修業を経て悟りを開き、良印の号を許され仏教普及のリーダーとして全国を巡りました。総持寺の後継者としての要請も受けましたがこれを辞退し、二四八年に東北地方の普及のため兄弟弟子三人と共に水沢に正法寺を開きました。正法寺は禅宗の全国第三の拠点として多くの末寺を展開しますが、胆沢長岡に永徳寺を開いた弟子の道叟和尚は宮古の千徳に善勝寺、津軽石に瑞雲寺、山田の織笠に龍泉寺を展開しました。月泉は早池峰山を修行の場として小国周辺に多くの拠点を築きました。その間に正法寺初代の無底和尚が没するとそのあとを継いで二代目住職になりました。住職となっても修行と禅宗の拡大に努め、ついに二二九四年、小国に大円寺を開き、水田を奨励して地域に貢献しました。



小国地区地域づくり委員会では地域創造基金事業の一環として月泉和尚の功績を伝える小冊子を作製しました。子供たちにもわかるように絵本仕立てになっています。挿絵は宮古市出身の佐香厚子氏が担当しました。(問い合わせ ☎ 78-2131 小国地区振興センター)

## 早池峰で修業し大円寺を開く



月泉の母は池に映った月があまりに美しいのでそれを掬って飲んだ後身ごもり、生まれた子に月泉と名付けました



大円寺



小国の里の案内板



鉄胎の岩屋



長沢の岩屋



月泉の袈裟



月泉木像

◆発行／宮古・田老・新里・川井地域協議会(〒027-8501 岩手県宮古市新川町2番1号 宮古市役所総務企画部企画課内) ◆編集／地域協議会広報編集委員会 ◆発行日／平成27年3月31日